

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	あんみアフタースクール		公表日		R7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	机の配置など工夫して活動スペースを確保しています。課外活動も積極的に取り入れて行きます。 基準を満たしている。(基準:1名あたり2.47㎡) 出稼設 1名あたり2.47㎡ (指導員課 表3.2、2㎡)	※中高生の利用も増えたため狭く感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	基準:管理員1名・児発員1名・児童指導員2名・指導員3名以上の配置をしていますが、派遣や短期バイト等を利用して職員が手薄にならないよう対応しています。巡回職員の確保も検討中。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25%	75%	賃貸物件で改装等が出来ないため、職員が対応を行っています。	既存の戸建て住宅を賃貸しています。 ※バリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎朝の清掃、定期的な換気等を行い、清潔を保っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		児童の状況を見ながら、個別の別室で活動できるように環境を設定しています。	その日の職員の配置人数によっては対応できないことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	毎日のミーティングの時間に必要に応じてカンファレンスを随時行い、個別的な支援について話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		年に一度アンケートを行い、各スタッフが結果を閲覧し、把握しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的に職員面談を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		実施なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部講師による新任者研修、児童発達支援管理責任者向け研修の受講を実施、法人内技術向上研修の実施。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページで公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		適切にアセスメントを行い、児童、保護者のニーズに合った計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		全体会議によってアセスメントの共有確認をし、それに基づいてスタッフ間で話し合いを行った上で計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		個別のファイルにて計画を閲覧できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		会社で統一したアセスメント用紙を使用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」ののらいう及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		児童のニーズに合った支援内容を具体的に記載するように努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		次月のプログラム予定を前月の会議によって事前に立案しています。各療育チームで担当しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		今後も創意工夫をこらし専門的なプログラムを実施して参ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	児童の状況把握をおこない、保護者の要望を取り入れ計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		集団活動の内容を前月の全体会議によって予定を立て、予定表、日報で周知し業務を進めています。細かい内容については管理者からの指示と当日の打ち合わせによって進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	気づいた事について、朝のミーティング、巡回終了時などの時間に全員にその都度情報共有を行っています。また、ラインワークスを使用し毎日の業務報告も行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		リタリコの支援システムを使い個別の記録をとっています。全体会議によって検証、支援の改善について話し合っている		
23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に一回以上のモニタリングをおこない計画内容について見直しをしています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		基本活動:①自立支援と日常生活実家のための支援 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供 ※全てを組み合わせている		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	100%		児童が「主役になり、自分で考え、物事を選択できる」支援プログラムの実施に努めています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		管理者、児発管が出席しています		

関係機関 や保護者 との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		必要に応じて支援会議に参加しています。また、各関係機関と連携を行い情報共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		各学校のホームページを参考にしています。保護者、学校と都度連絡を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		必要性に応じて実施しているが十分な情報量とは言えなかったため今後に向けて改善していきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		相談支援専門員、保護者様と面談や電話での情報共有と連携を図り児童の今後に繋げている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		児童発達支援センターの定期訪問時に課題のある事例についてアドバイスをもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	町内会や地域の子供たちと場を共有する機会を設けていく。	交流出来るイベントに積極的に参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		自立支援協議会と地域が一体になった活動に参加していく。	児童の療育対応を優先であるため参加ができない場合もある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時の引き継ぎ、メールやラインで都度連絡し共通理解を深めている。	メールやラインを使用しているが、文字だけでは伝わらない表現がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	必要に応じて事業所内相談（事業所内対面相談）の機会を設けている。	家族と一緒に参加出来る研修の実施はなかったため今後検討していきたい。
保護者 への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明を行っている他変更があれば文章にてお知らせをして承認を得ている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		定期的に面談・相談の時間を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		保護者面談の際に説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		必要に応じ、面談を行っている。また、悩み等を正確に抽出し適切な助言を心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	今後保護者会等の開催を検討しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		郵送、電話や訪問で聞き取りを行い解決に結び付けています。利用時に個別の支援日誌や送迎の際に情報交換を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	次月予定表をデータで配布しています。SNSで日々の様子を発信し、ホームページでは予定表等を公表しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		目隠しのあるファイル、鍵付き書棚にて個人情報保護している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		発話が困難な児童や活動の見通しが個別に必要な児童には、個別の絵カードや文字で示すタイプのスケジュールカードを準備することで情報伝達や双方の確認を行っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	「夏祭り」を実施。保護者からの承諾を得た上でおこなっています。系列々高住、就労継続支援B型事業所と連携し、行事の交流を行っている。		
非常時 等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		定期的に職員机上訓練・実技訓練を実施しています。	保護者への周知は不十分ため今後積極的に発信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年に一回以上のBCP訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に確認を取っています。また、定期的個別情報を更新しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		食物アレルギーの把握に努めている。	医師の指示書に基づく対応は実施していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		定期的に職員机上訓練・実技訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		定期的に職員机上訓練・実技訓練を実施しています。	保護者への周知は不十分ため今後積極的に発信していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットに関する事例をあげて共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に虐待防止研修を実施しています。また、外部研修にも参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に細かく説明しています。		